

インパクトレポート 2026 — IMPACT REPORT —

野村ACI先進医療インパクト投資

- ◆ Aコース 為替ヘッジあり 資産成長型
- ◆ Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型
- ◆ Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型
- ◆ Dコース 為替ヘッジなし 予想分配金提示型

追加型投信／内外／株式



豊かな未来のために

NOMURA 野村アセットマネジメント

はじめに

このインパクトレポートでは、投資家の皆様からのご投資資金がどのようにして医療の変革をサポートし、世界のより良い医療の実現に向け貢献しているかをご紹介します。「野村ACI先進医療インパクト投資」の4つのインパクト投資テーマにおいて、企業が創出するインパクトやその取組みを、運用チーム独自の視点からご説明します。

ACI運用チームからのメッセージ

— 持続可能性・利益最大化のために、インパクト投資 —

近年、企業成長の持続可能性は利益を最大化するために必須であると考える投資家は増えてきています。このような変化に適応し、医療をテーマとした投資によって、社会にポジティブなインパクトをもたらすことができると我々は考えます。

— 皆様と共に育む「豊かな未来」へ —

ACIの投資アプローチの核心は、投資家の皆様が社会的なインパクトか投資収益のどちらかを選択する必要はない、ということです。このアプローチは国連の持続可能な開発目標(SDGs)に沿った環境、社会、ガバナンス(ESG)のリスク管理を適切に行なう企業への投資機会を提供し、投資収益を創出しながらこの目標を達成することができると考えています。

ACIは、配当の40%以上を株主であるストワーズ医学研究所に支払っており、皆様の投資が直接、人々の健康を改善し命を救う医学研究や、がんなどの難病との闘いなどをサポートしています。これが私達と投資家の皆様が共に育む「豊かな未来」への道であり、ポジティブなインパクトを生み出す原動力となっています。

ACI運用チーム

*ACI(アメリカン・センチュリー・インベストメント)、ストワーズ医学研究所についてはP.11をご参照ください。



INDEX

ファンドを通じた医療分野へのインパクト投資 ━━━━━━ 03

医療分野のインパクト投資の必要性 ━━━━━━ 05

ファンドに組入れた医療関連企業のインパクト ━━━━━━ 06

先進医療関連企業の取組み例 ━━━━━━ 07

 革新的治療の提供

 医薬品・医療サービスへのアクセス

 医療費削減のソリューション

 効果的な医療機器・サービス等

ACIとストワーズ医学研究所の社会的なインパクト ━━━━━━ 11

ファンドを通じた社会的なインパクト～SDGsの達成に貢献～ ━ 12

ファンドの特色 ━━━━━━ 13

投資リスク 他 ━━━━━━ 14

お申込みメモ／当ファンドに係る費用／課税関係 他 ━━━━ 15

ファンドを通じた医療分野へのインパクト投資

投資収益の追求と共に、社会的課題の解決を目指す

インパクト投資とは、ESG投資の手法の1つで、投資収益の追求に加え、社会的課題の解決を目指す投資手法のことをいいます。インパクト投資は、急速に拡大しており、その最も重要な投資分野の1つとされているのが「医療」です。

先進医療関連市場では、テクノロジー主導のイノベーションにより、がんやその他の遺伝子疾患などに対し新たな治療法が生まれると期待されています。先進医療関連企業*への投資によって、社会的インパクトをもたらすことは非常に大切なことです。今私達は、世界中の人々の生活を向上させるヘルスケア改革の新しいステージに立っています。

ファンドは右記の4つのインパクト投資のテーマに基づき銘柄を選定しています。投資収益を得るだけではなく、社会のポジティブな変化を促進することが私達のゴールです。

*ファンドにおいて、「先進医療関連企業」とは、製薬、バイオテクノロジー、医療機器、医療・健康サービス関連企業等のうち、先進的な技術の発見・開発や、先進的な医療サービスの提供に寄与するもしくはその恩恵を受けると考えられる企業等のことをいいます。

☞「野村ACI先進医療インパクト投資」については、13ページをご参考ください。

ファンドのインパクト投資テーマ



テーマ 1 革新的治療の提供

がんや神経障害、新生児や幼児の死亡率の低下等に貢献するような、革新的な治療を提供する企業に着目します。



テーマ 2 医薬品・医療サービスへのアクセス

先進国・新興国において、医薬品および質の高い医療サービスを普及し、安全かつ効果的で安価な医薬品の提供に貢献する企業に着目します。



テーマ 3 医療費削減のソリューション

誰もが経済的な不安を抱えることなく、質の高い医療サービスや、安全・効果的な医薬品およびワクチンを利用できる社会を目指すため、医療費削減に貢献する企業に着目します。



テーマ 4 効果的な医療機器・サービス等

重大な疾病への治療を大きく進展させるため、より生産性が高く、効果的な医療機器・サービスおよびソフトウェアを開発・提供する企業に着目します。

上記は記載時点で選定された成長テーマであり、今後変更となる可能性があります。
資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

インパクト投資やESG分析を用いた ポートフォリオ構築プロセス

下記の投資プロセスは、今後変更となる場合があります。

①投資ユニバース

世界各国の先進医療関連企業

②優良企業のスクリーニング

企業収益の成長加速度、財務状況や業績、
株価割安性等に着目した定量評価

③投資対象企業の決定

個別銘柄ごとに綿密に
インパクト投資、ESGの観点も加えた
ファンダメンタルズ分析を行ない、投資対象企業を決定

インパクト投資

ACIが設定する4つのインパクト投資のテーマに沿って投資対象企業を決定し、企業が社会的に意義のあるインパクトを与えていているかどうかを分析します。

ESG分析

セクターおよび個々の企業特有のリスクを考慮したうえで、投資対象企業の長期的な利益成長に影響を与えるESG要因について評価を行ない、ESGスコアを付与します。

リスク特性、銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築

- ・ポートフォリオ構築後は議決権行使やエンゲージメント(対話)を通じて、投資先企業の持続可能な成長を促進
- ・4つのインパクト投資テーマの達成状況について継続的なモニタリングを実施

個別銘柄に対するインパクト測定の枠組み



インパクト分析

企業が社会的に意義のあるインパクトを与えていているかどうかを下記の4項目から分析し判断する。



スコアリング

ACI独自の基準によりスコアをつけ、企業間のインパクトを標準化する。

付加価値
(度合)

患者へのヘルスケア結果を
向上させている度合

(5点満点)

付加価値
(規模)

対応する医療ニーズの範囲

(5点満点)

志向性

社会的インパクトの成果、企業の戦略、
ファンドの投資テーマとの整合性

(5点満点)

測定可能性

インパクト結果を
定量的に測定できること

(3点満点)

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

医療分野のインパクト投資の必要性

社会的課題が多い医療関連分野



有効な治療法が確立されていない難病がある
約7,000種類
世界の希少疾患の種類
(2016年)



世界で主に低中所得国で医療従事者が不足
約1,100万人
世界で不足する医療従事者の人数(2030年予測)



医療コストが年々上昇し家計や国の財政を圧迫している
約2倍に
世界の医療関連支出額
(2003年と2023年の比較)



高齢化により医療・介護への需要が増大している
約3割
先進国の65歳以上の人口の割合(2050年予測)

上記の医療関連支出額はWHOの定義、米ドルベース(2023年基準)

インパクト投資は課題解決の一助に

昨今の医療における目覚ましい発展は、多くの人々に影響を及ぼしている疾病治療に新たな希望をもたらしています。また、取り組むべき医療関連の課題が多くあり、革新的な治療法の開発は医療の状況を改善する機会であると考えられます。

革新によって、医療の研究成果や医薬品承認が実現され、様々な治療法が開発されています。例えば、がんや自己免疫疾患と闘うための免疫療法が開発されたことや、遺伝子編集技術ががん治療などに応用されていること、世界的な健康課題である肥満に対処するため、GLP-1薬と呼ばれる食欲を抑える効果のある治療薬が開発され、普及が進んでいることなどが挙げられます。

このような医療関連企業への投資は、魅力ある投資収益と共に、世界の医療に対する長期的なインパクトを生み出すと考えています。



写真はイメージです。

出所:Statista、世界銀行、WHO(世界保健機関)、国際連合のデータ、ACI提供資料を基に野村アセットマネジメント作成

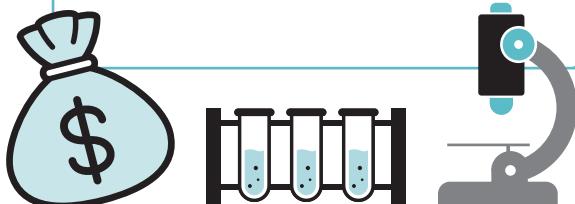
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

上記は作成時点における見解であり、今後変更となる可能性があります。

ファンドに組入れた医療関連企業のインパクト

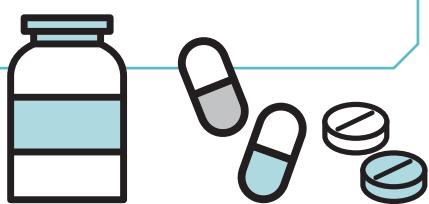
980億米ドル

ファンドに組み入れた先進医療関連企業は、980億米ドル以上の研究開発費を投じました。(2024年)



520件

約520件の治験薬が臨床試験中であります。うち約300件が後期段階にあります。



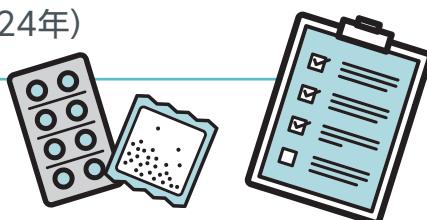
1,600件

約1,600件の臨床試験が実施されました。



1億9,000万件

ファンドに組み入れた企業の製品は、米国のお小売店で処方箋として約1億9,000万件取り扱われました。(2024年)





先進医療関連企業の取組み例

革新的治療の提供

がんや神経障害、新生児や幼児の死亡率の低下等に貢献するような、革新的な治療を提供する企業に着目します。

期待されるインパクト

遺伝子の仕組みへの理解や疾患の進行と感染に関する先端技術の進歩により、これまで治療が困難であった疾患に対する治療法が生まれること

バイオジエン



多発性硬化症やアルツハイマー病などの神経疾患や神経変性疾患の治療薬の開発を行なうバイオテクノロジー企業。

インパクト分析

スコアリング

付加価値 (度合)

- 同社は、新製品の投入や戦略的なコスト管理に基づき、アルツハイマー病、うつ病、その他の衰弱性疾患の治療薬に継続して多額の投資を行なっている。
- 2024年に20億米ドル以上を研究開発費に充てた。

4.5
(5点満点)

付加価値 (規模)

- アンメット・メディカル・ニーズ（いまだ有効な治療方法がない疾患に対する医療ニーズ）の高い分野に取り組む。
- 例えば、罹患者が約5,000万人とされるアルツハイマー病、罹患者が約1,000万人とされるパーキンソン病、罹患者が200万人以上とされる多発性硬化症などが挙げられる。

4.8
(5点満点)

志向性

- 同社は「科学を通じて人類に貢献すると同時に、より健康で、持続可能かつ公平な世界の実現」に注力している。
- アンメット・メディカル・ニーズへの取り組みは、投資テーマである「革新的治療の提供」と一致する。

4.8
(5点満点)

測定可能性

- 同社の多発性硬化症治療薬は約200万人の患者に投与された。
- 同社の脊髄性筋萎縮症治療薬について、約5年で乳児が運動機能を回復・維持し、92%が補助なしで歩行する能力を得て維持できたとの研究結果がある。

1.8
(3点満点)

- 多発性硬化症：中枢神経系の慢性炎症性脱髓鞘疾患であり、再発と寛解を繰り返すことが特徴である難病
- 脊髄性筋萎縮症：脊髄前角にある運動神経細胞の変性により、筋力低下、筋萎縮を呈する運動神経疾患

2024年12月31日時点

出所：ACI提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は、4つのインパクト投資テーマに基づいた銘柄紹介であり、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



先進医療関連企業の取組み例

医薬品・医療サービスへのアクセス

先進国・新興国において、医薬品および質の高い医療サービスを普及し、安全かつ効果的で安価な医薬品の提供に貢献する企業に着目します。

期待されるインパクト

医療サービスの需給間格差に対処し、必要としている全ての人に医療システムが行き届くようにすること

ボストン・サイエンティフィック



患者への負担を軽減する低侵襲治療に特化した世界最大級の医療機器メーカー。

インパクト分析

スコアリング

付加価値 (度合)

- 2024年に同社の心房細動アブレーション治療機器「FARAPULSE」が米国食品医薬品局(FDA)に承認され、急拡大する同機器の市場でリーダーとしての地位を確立。
- この技術によりすでに20万人以上の患者が治療を受けるなど、世界中で急速に普及しており、早い段階から大きな成果を上げている。

3.0

(5点満点)

付加価値 (規模)

- 心房細動は最も一般的な不整脈のひとつで、世界で約3,800万人の患者がいると推定されており、2030年までに患者数は約3倍に増加するとも予想されている。
- 同社は左心耳閉鎖デバイスの主要プロバイダーであり、また心房細動アブレーション市場への積極的な参入を通じて、心房細動治療の中でも最も成長が速い領域を大きく前進させている。

4.0

(5点満点)

志向性

- 同社は顧客である医療機関・医療従事者と積極的に連携し、解決が求められる臨床上の課題を見つけ出し、効果的な解決策の開発や治療対象の拡大など、アンメット・メディカル・ニーズへ取り組んでいる。

4.8

(5点満点)

測定可能性

- 同社は「FARAPULSE」などの革新的技術により、2024年に世界で年間4,400万人以上の患者の生活の質を向上させた。

1.8

(3点満点)

・アブレーション:身体の一部や組織、またはその機能を除去、破壊する治療法

・左心耳閉鎖デバイス:非弁膜症性心房細動による血栓の形成の原因となる「左心耳」を閉鎖し、脳卒中を予防する医療機器

2024年12月31日時点

出所:ACI提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は、4つのインパクト投資テーマに基づいた銘柄紹介であり、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



医療費削減のソリューション

誰もが経済的な不安を抱えることなく、質の高い医療サービスや、安全・効果的な医薬品およびワクチンを利用できる社会を目指すため、医療費削減に貢献する企業に着目します。

期待されるインパクト

より費用対効果の高い医療ソリューションを見つけ、医療へのアクセスの改善を図ること

ヴィーヴァ・システムズ



医療・ライフサイエンス業界向けに特化したクラウドベースのソフトウェアソリューションを提供するリーディングカンパニー。

インパクト分析

スコアリング

付加価値 (度合)

- 同社は医療・ライフサイエンスの研究開発、規制対応、品質管理、安全性監視、患者と医師のコミュニケーションなどの領域において、デジタル化・クラウド化を促進している。

4.8
(5点満点)

付加価値 (規模)

- 新薬開発に必要な平均費用は約8億米ドルから約23億米ドル、期間(開発開始から完成まで)は約10年半とされている。
- 同社のシステムにより、医療の研究開発に関わる事務作業の大幅な効率化とコスト削減が期待される。

5.0
(5点満点)

志向性

- 同社は新薬の開発初期段階における非効率の削減に役立つソリューションを提供している。これにより、命を救う新たな治療法をより早く、低コストで患者に届けることが可能となり、社会にポジティブなインパクトをもたらしている。

5.0
(5点満点)

測定可能性

- 新たに承認された新薬の約8割が、同社の提供する医療業界向けの顧客関係管理システムで上市された。
- 同社のソリューションを利用することで、データ変更リクエストの処理速度の90%向上、TMF(トライアルマスターファイル)照合速度の40%向上、提出書類の準備時間の50%短縮など、効率性の大幅な向上を実現。

1.0
(3点満点)

- 上市:市場に投入されること。主に医薬品の業界などで「新薬を上市する」などのように用いられる
- TMF:治験の実施・データの品質に対する評価を補助する文書を加えた治験関連文書から成る文書群

2024年12月31日時点

出所:ACI提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は、4つのインパクト投資テーマに基づいた銘柄紹介であり、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

効果的な医療機器・サービス等

重大な疾病への治療を大きく進展させるため、より生産性が高く、効果的な医療機器・サービスおよびソフトウェアを開発・提供する企業に着目します。

期待されるインパクト

データやコンピューティング、分析ツールの活用により、新たな知見を得ることと、技術の向上により、診断や治療、予防に大きな進歩をもたらすこと

ガーダントヘルス



リキッドバイオプシー(液体生検)から、がんの遺伝子異常を検出する技術などを提供するバイオテクノロジー企業。

インパクト分析

スコアリング

付加価値 (度合)

- 同社は45歳以上の通常の健康状態の成人を対象とした、初の血液検査による大腸がん検査「Shield」でFDAの承認を受けた。
- 同検査は米国で販売が始まり、メディケア(高齢者および障害者向け公的医療保険制度)の対象にもなった初の血液検査である。

4.0
(5点満点)

付加価値 (規模)

- 同社はアンメット・メディカル・ニーズに取り組むために、研究開発を積極的に行なうことで新しい製品づくりに役立つ情報を集めており、世界中のパートナーと協力しながら、がん治療を効率よく進める仕組みや製品をより早く世の中に届けられるような体制を整えている。

4.0
(5点満点)

志向性

- 同社はがんのあらゆるステージにおいて治療法選択の支援や微小残存病変の検出、早期発見のためのスクリーニング製品といった分野で業界をリードする会社となり、より多くの医療現場での自社製品が活用されることを目指している。

5.0
(5点満点)

測定可能性

- 同社の「Guardant360」というがんの遺伝子検査が米国の大手医療保険のほとんどで適用範囲となるように進めた結果、3億人以上が同検査を受けられるようになった。

3.0
(3点満点)

・微小残存病変:抗がん剤の投与などにより一定の治療効果確認後も患者の体内に残っている微小なレベルのがん病変(細胞)のこと

2024年12月31日時点

出所:ACI提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は、4つのインパクト投資テーマに基づいた銘柄紹介であり、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ACIとストワーズ医学研究所の社会的なインパクト



Prosper With Purpose® ~豊かな未来のために~

アメリカン・センチュリー・インベストメンツ(ACI)は60年以上の歴史を通して、高い運用実績の実現と、顧客との強固で長期的な関係の構築を重視する、質の高いアクティブ運用を行なってきました。ACIの創業者が設立した非営利団体「ストワーズ医学研究所」がACIの支配株主となっており、株主配当を通して、人々の健康に有益な影響(インパクト)を与えるビジネスモデルとなっています。



アメリカン・センチュリー・インベストメンツ 本拠地
米国ミズーリ州カンザス・シティ



ACIの創設者であるジェームズ・E・ストワーズ ジュニアと妻バージニア・G・ストワーズは、自らががんを患った経験と、人類を助けるために私財を活かしたいという願望から、故郷のミズーリ州カンザス・シティにストワーズ医学研究所を設立しました。ストワーズ医学研究所の研究プログラムは、遺伝子モデル生物学の分野である生物学基礎研究に焦点を当てています。

1994年
設立

500名
のスタッフ

150件
以上の
研究プロジェクト
が進行中

3名
の米国科学
アカデミーの
メンバー

米国科学アカデミー(1863年設立)：科学・技術の発展と社会福祉への発展を目指している非営利の学術団体。約200名のノーベル賞受賞者が含まれる。



創設者と妻



ストワーズ医学研究所 本拠地
米国ミズーリ州カンザス・シティ

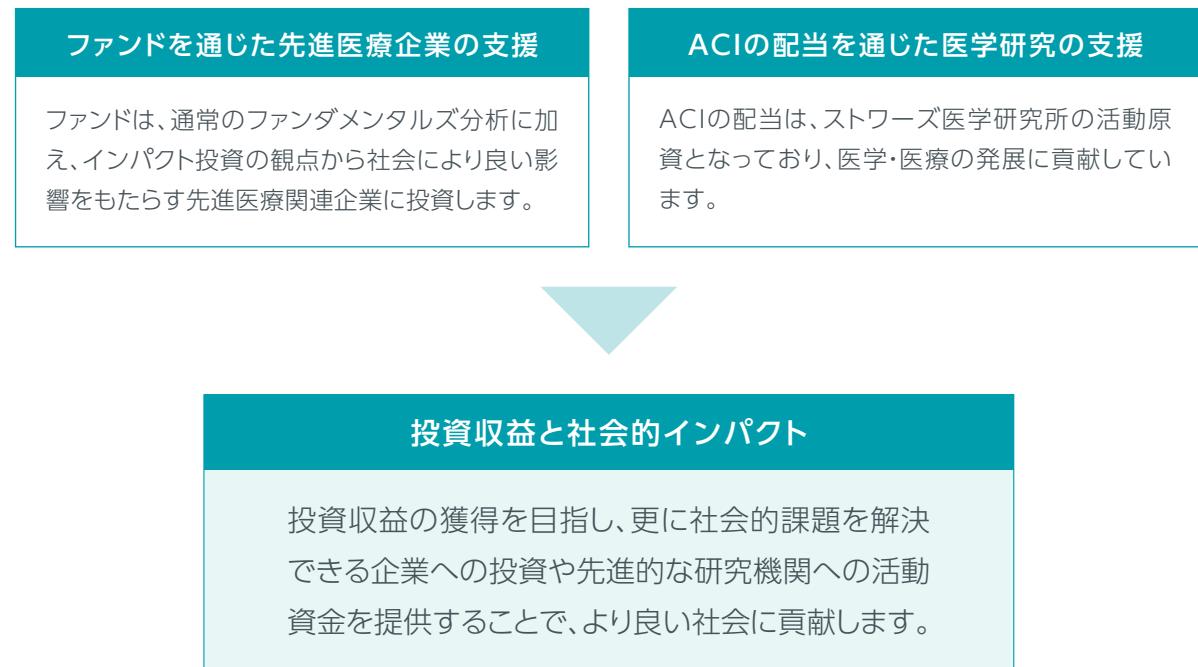
企業の利益を、社会に有益な事業として還元



出所:2025年7月時点で確認できるACIの情報を基に野村アセットマネジメント作成
野村ホールディングスは、ACIと戦略提携を結び、100%子会社を通じて出資を行なっています。
ストワーズ医学研究所はファンドの運用に関係ありません。

ファンドを通じた社会的なインパクト～SDGsの達成に貢献～

「野村ACI先進医療インパクト投資」を通じた 社会的なインパクトのイメージ



ファンドは医療関連企業へのインパクト投資を通じ、SDGsの目標3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」を支援し、世界規模で医療分野の社会的課題の解決に貢献します。

世界の課題解決のために策定されたSDGs

SDGsの概要

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択され、持続可能な社会の実現のため、2030年を期限とする国際社会の17の共通目標です。



SDGsって、何の略？

Sustainable = 持続可能な
Development = 開発
Goals = 目標



出所:各種資料を基に野村アセットマネジメント作成
上記はSDGsの説明の一部であり、すべてを網羅したものではありません。

ファンドの特色

1 世界各国(新興国を含みます。)の先進医療関連企業^{※1}の株式(DR(預託証書)^{※2}を含みます。)を実質的な主要投資対象^{※3}とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。

2 株式への投資にあたっては、インパクト投資^{※4}およびESG^{※5}の観点を考慮することを基本とします。

■ファンドにおけるサステナブル投資と先進医療技術・サービスを通じた人々の健康支援への貢献■

・ファンドは、先進医療関連株式へのインパクト投資を通じて、先進医療技術・サービスを通じた人々の健康支援に貢献することを目指します。

・ファンドは、以下の4つのテーマのうち1つ以上のテーマに該当する銘柄への投資比率を純資産総額の90%以上に維持することを基本とし、ファンド全体における人々の健康支援への貢献度をモニタリングします。

テーマ①「革新的治療の提供」

がんや神経障害、新生児や幼児の死亡率の低下等に貢献するような、革新的な治療を提供する企業に着目します。

テーマ②「医薬品・医療サービスへのアクセス」

先進国・新興国において、医薬品および質の高い医療サービスを普及し、安全かつ効果的で安価な医薬品の提供に貢献する企業に着目します。

テーマ③「医療費削減のソリューション」

誰もが経済的な不安を抱えることなく、質の高い医療サービスや、安全・効果的な医薬品およびワクチンを利用できる社会を目指すため、医療費削減に貢献する企業に着目します。

テーマ④「効果的な医療機器・サービス等」

重大な疾病への治療を大きく進展させるため、より生産性が高く、効果的な医療機器・サービスおよびソフトウェアを開発・提供する企業に着目します。

・企業が社会的に意義のあるインパクトを与えているかどうかを下記の4項目から分析して判断しています。

- 付加価値(度合):患者のヘルスケア結果を向上させている度合

- 付加価値(規模):対応する医療ニーズの範囲

- 志向性:社会的インパクトの成果、企業の戦略、ファンドの投資テーマとの整合性

- 測定可能性:インパクト結果を測定できること

●組入銘柄の選定にあたっては、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した分析で上位に位置する銘柄に対し、個別銘柄ごとに綿密にインパクト投資およびESGの観点も加えたファンダメンタルズ分析を行ないます。

◆リスク特性、銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。

3 マザーファンドの運用にあたっては、アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インクに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

4 ファンドは、分配頻度、為替ヘッジ有無の異なる4つのコース(Aコース、Bコース、Cコース、Dコース)から構成されています。また、「Aコース」「Bコース」間および「Cコース」「Dコース」間でスイッチングができます。

販売会社によっては、スイッチング等のお取扱いが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
年2回分配(資産成長型)	Aコース	Bコース
毎月分配(予想分配金提示型)	Cコース	Dコース

*4ページの「インパクト投資やESG分析を用いたポートフォリオ構築プロセス」および投資信託説明書(交付目論見書)をあわせてご参照ください。

※1 ファンドにおいて、「先進医療関連企業」とは、製薬、バイオテクノロジー、医療機器、医療・健康サービス関連企業等のうち、先進的な技術の発見・開発や、先進的な医療サービスの提供に寄与するもしくはその恩恵を受けると考えられる企業等のことをいいます。

※2 Depositary Receipt(預託証書)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。

※3 ファンドは、「野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド」をマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

※4 インパクト投資とは、投資を行なう際に経済的なリターンに加え、社会に有益な影響(インパクト)を与えることを意図して行なわれる投資行動です。

※5 ESGとは、Environment(環境)、Social(社会)およびCorporate Governance(企業統治)の総称です。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク 他

当ファンドの投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

《基準価額の変動要因》 基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

株価変動リスク

ファンドは、実質的に株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の株価変動は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。またファンドは、特定のテーマに絞った株式に実質的に投資を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広いテーマで株式に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。

為替変動リスク

「Bコース」および「Dコース」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高いこと等から、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。

「Aコース」および「Cコース」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。なお、現地通貨による直接ヘッジのほか先進国通貨を用いた代替ヘッジを行なう場合がありますが、その場合、通貨間の値動きが異なる場合が想定され、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかるため、基準価額の変動要因となります。なお、一部の通貨においては為替ヘッジの手段がない等の理由から為替ヘッジを行なわない場合があり、為替変動の影響を直接的に受けることになります。

ESG投資に関するリスク

ファンドは、実質的に投資対象銘柄のESG特性を重視してポートフォリオの構築を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広い銘柄の株式に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

〔委託会社〕野村アセットマネジメント株式会社〔ファンドの運用の指図を行なう者〕〔受託会社〕野村信託銀行株式会社〔ファンドの財産の保管および管理を行なう者〕

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●ホームページ

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

<https://www.nomura-am.co.jp/>



お申込みメモ／当ファンドに係る費用／課税関係 他

お申込みメモ

「Aコース」「Bコース」 無期限(2018年10月23日設定) 「Cコース」「Dコース」 2028年12月19日まで(2018年10月23日設定)	
●信託期間 「Aコース」「Bコース」 年2回の毎決算時(原則、6月および12月の19日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。	
●決算日および収益分配 「Cコース」「Dコース」 年12回の毎決算時(原則、毎月19日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。	
ご購入時 ●ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額 ●ご購入代金 販売会社の定める期日までにお支払ください。 ●ご購入単位 ご購入単位は販売会社によって異なります。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。	
ご換金時 ●ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額 ●ご換金代金 原則、ご換金申込日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。 ●ご換金制限 大口換金には制限を設ける場合があります。	●ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額 ●ご購入代金 販売会社の定める期日までにお支払ください。 ●ご購入単位 ご購入単位は販売会社によって異なります。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
	●ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額 ●ご換金代金 原則、ご換金申込日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。 ●ご換金制限 大口換金には制限を設ける場合があります。
	●スイッチング 「Aコース」「Bコース」間および「Cコース」「Dコース」間でスイッチングが可能です。 ※販売会社によっては、スイッチング等のお取扱いが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 ●お申込不可日 販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合には、原則、ご購入、ご換金およびスイッチングの各お申込みができません。 ・ニューヨークの銀行 ・ニューヨーク証券取引所
課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。「Aコース」「Bコース」はNISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。「Cコース」「Dコース」はNISAの対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

当ファンドに係る費用

(2026年2月現在)

●ご購入時手数料

ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<スイッチング時>

販売会社が独自に定める率を乗じて得た額

*販売会社によっては、スイッチング等のお取扱いが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

●運用管理費用(信託報酬) ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。

純資産総額に年1.815%(税抜年1.65%)の率を乗じて得た額

ファンドの保有期間中に、その都度かかります。

●その他の費用・手数料
(運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。)

・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料

・外貨建資産の保管等に要する費用

・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用

・ファンドに関する租税 等

●信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)

1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

*詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<当資料について>

●当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

<お申込みに際してのご留意事項>

●ファンドは、元金が保証されているものではありません。●ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。●投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。●投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。●お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

設定・運用は

NOMURA
野村アセットマネジメント

商 号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

野村ACI先進医療インパクト投資 Aコース／Bコース／Cコース／Dコース

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会			
株式会社筑波銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第44号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。